

11509その他の輸送用機械等製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	8~9	工場内の棚にある固定具の治具を中腰で探しており、立ち上がった際に棚の鉄板から飛び出していたネジに頭を打ち、頭頂部が切れて5針縫う怪我をした。	58	3	419	50~99
2	2017	11	9~10	働いている時に電動サンダーで脚を切った。	28	8	153	1~9
3	2017	11	16~17	L-50下皿玉入れ専用機でキャスターの金属部品の組立作業中（稼働部分（棒状）にステンレス製皿を載せて、機械で皿に玉を入れる）、機械が稼働している間に右手を入れてしまい、安全装置が作動した。その際、稼働部分が下がり、土台と稼働部分に人差し指が挟まれ受傷した。	45	7	169	100~299
4	2017	11	6~7	自宅から最寄り駅へ移動するため、50cc原動機付自転車を使用した。途中の信号機の無い十字路交差点に差し掛かった時、左側から交差点に進入してきた、4ナンバー小型自動車と側面衝突し被災した。	39	17	231	100~299
5	2017	11	13~14	当社工場内で金属加工（プレス・切断・検品・梱包等）の業務をしていた。アルミの円筒形のパイプ（400mm×φ25mm、厚さ2mm）を曲げ加工するために、プレス作業をされていて加工品（製品）を取り出そうと手を差し入れた時、誤ってプレスペダルを踏んでしまい、その時左手を負傷してしまった。	44	7	154	1~9
6	2017	11	14~	工場内にてアルミL型材料の切断運搬作業中に、1.57mに切断した材料2本束を所定の位置に運ぶ途中、2号機手前のクレー	21	3	417	30~

			15	ンのレール（高さ約1cm）を踏んでしまい、左足首を捻って捻挫したものである。				49
7	2017	11	16～ 17	アルマイトの形材置場で、空パレット置場から台車を引き出す時、積み重ねた空パレットが移動して、空パレットのフック部と柱の間に指が挟まり、左手小指を骨折した。	31	7	362	100 ～ 299
8	2017	11	9～ 10	工場敷地内、台車車輪工程の建屋の屋根で、台風により破損した波板を交換する作業の準備をしている時、2枚目を運び終わり戻る際、別の建屋の屋根にある明かり取り用のプラスチック製波板に乗ってしまい、高さ4.5mから落ちてしまった。下に棚があり、その縁で反転し、頭部より落ちた為、左頭蓋骨陥没が致命傷となり死に至ってしまった。	43	1	415	50～ 99
9	2017	11	9～ 10	航空機用化粧室組立工程において、部品取り付け時の接着剤が過度に塗布されていたため、はみ出し部分をカッターで除去する作業を行っていた際に、押さえていた左手人差し指方向へカッターが滑り切創した。	41	8	364	300 ～ 499
10	2017	11	7～8	15kgの荷物を運ぶ途中バランスを崩し転んでしまった。	68	2	417	10～ 29
11	2017	11	15～ 16	工場2Fから1Fに移動する際、階段の中間地点で足を踏み外し、10段程転落した。転落時は荷物の運搬等はなく、両手は自由な状態であった。	58	1	413	100 ～ 299
12	2017	10	12～ 13	社会人野球チームと野球の試合練習を行った際に、一打席目に左足脛付近に打球が直撃したため、病院で検査したところ、左脛骨骨折と診断された。	29	6	911	100 ～ 299
13	2017	10	9～ 10	クレーン作業の補助をしている時にチェーンと材料の間に右手人差し指を挟み、骨折した。	19	7	372	30～ 49
				STKR100×50×2.3×8000を生産中に、機械故障により一旦生産を中断した。機械修理後に再稼働を始めて間もなく、パイ				100

14	2017	10	17~ 18	<p>プ底面に踏みキズを発見し原因を探したところ、下側ロールにロールかすを発見した。研磨剤を右手に持ち、下側ロールを研磨しようとしてロールの回転方向側に手を当てた時、ロールとパイプに右手を巻き込まれた。</p>	37	7	163	~ 299
15	2017	10	23~ 24	<p>小型CVTケース加工NO5ライン、デブコン作業場（鑄造不良の改修）にて、2人でCVTケースのデブコン修正作業を行っていた。作業テーブルからパレットへCVTケース（10.8kg）1個を両手で持ち、1人で移搬途中に腰に痛みを感じ、しゃがみ込んだ。もう一人の作業者が異変に気付き作業を停止させ楽な姿勢で休ませた。歩行困難となった。</p>	39	19	521	1000 ~ 9999
16	2017	10	15~ 16	<p>アルミのアングルに貼ったマスキングテープをはがす作業で、左手にアングルを持ち、右手に持ったカッターでテープの端からはがしていたところ、勢い余って左手薬指指先から第二関節の中指側付近を負傷。防護手袋などは装着していなかった。</p>	29	8	364	100 ~ 299
17	2017	8	14~ 15	<p>横中ぐり盤にセットしようとした加工物がずれて指の上に落ち、右手人差し指・中指・薬指を剥離骨折した。</p>	58	7	159	1~9
18	2017	8	11~ 12	<p>塗料廃棄置き場で、廃棄塗料をドラム缶へ捨てようと右手で取っ手を持ち、左手を缶の下に添えて傾けた。その際、塗料が跳ねて顔に付着したため左手を離し、塗料缶を下に降ろそうとし下げたが、塗料缶がドラム缶に当たり、右手が塗料缶の中に入ってしまった。慌てて引き抜こうとした際、右手首を缶の切り口に引っ掛け、裂傷を負った。</p>	48	8	521	300 ~ 499
19	2017	7	13~14	<p>製缶部の作業場において、フリクションプレス機で製品の成型作業加工中に挟まないように手を引こうとしたところ、肘が自分の体に当たって手が引けず、誤って左手指を機械に挟んだ。被災当時、当該作業に当たっていたのは被災者本人のみであった。</p>	66	7	154	10~ 29
				<p>トンネル掘削機組立場所で、煙突状態に組み立てられていた本</p>				

20	2017	7	23~24	体後胴の内部で、本人は1人で上部で実施していたエレクター装置の保護カバー取付作業状況を確認するために、その作業場所への昇降設備として固縛設置していたハシゴを地上から上がっていた際に、バランスを崩して背中から地上へ落下（高さ不明）し、落下した際に肩と頭部を地面で強打した。本人は1人で移動しており、状況を視認していた者もおらず、上部状況は発見時の状況から推測した。	43	1	371	50~99
21	2017	7	16~17	住所の工場二階で屋根の補修中バランスを崩し落下、胸部を打撲骨折した。	25	1	416	1~9
22	2017	7	16~17	屋外を含む運転士技能試験に向けた訓練を行っていたところ、めまいや吐き気等、熱中症のような症状が出たため、空調の効いた電車内で休養をとった。症状が落ち着いたものの頭痛が残った。	73	4	416	1~9
23	2017	6	6~7	焼き戻し作業中、製品の冷却に使用する水を水槽に溜める作業をする際、水を出すバルブ切替中に足を踏み外して、左膝を打ってしまった。通路が狭く、水槽の縁の上に乗って作業していた。	40	1	391	50~99
24	2017	6	17~18	工場内にて、製品の入った箱の中から製品を取り出そうとした時、積み重ねてあった箱（約10kg）が崩れ落ちた。その際、バランスを崩して地面についた手の甲に箱が落ち、負傷した。	32	5	611	30~49
25	2017	6	13~14	社内加工場にて機械作業中、加工後に発生する切粉が工具にからまり、除去する際に左手人差し指に接触し、同箇所を4針縫う怪我をした。	21	7	153	30~49
26	2017	5	13~14	第1工場塗装ブースにおいて、塗装部品（シャーパネル）搬入時に所定の場所へ移動させ、シャーパネルの下に塗装台（馬：800mm×800mm×1500mm、20kg）を入れ込み、塗装台を滑らせながら位置を調整していた時に腰を痛めた。	23	19	391	30~49
				本社工場2階作業場にて、農業機器の部品作成時、ロボット溶				

27	2017	5	11～ 12	接での加工を行うため、両手で溶接治具へ部材をセットした。 本来はセット後、両手を放すところ、左手を部材に添えたまま離さなかった為、右手でクランプ作動レバーを可動させた際に部材に置いたままの左手拇指をクランプと部材の間に挟み被災した。	39	7	169	300 ～ 499
28	2017	4	15～ 16	駅周辺の公道で、電動アシスト自転車の試作モーターの最終評価のため、モーターを車体に取り付け、公道を走る実走試験を行っていたとき、重いギアに変えた状態で赤信号停止後青信号になったので左足でペダルを踏み込もうとしてバランスを崩し、右肩から路面に転倒した。	56	2	362	300 ～ 499
29	2017	4	14～ 15	展示場にて車両のタイヤ交換作業中（タイヤ重量が重い）、重量タイヤ交換作業中に背中を捻り痛める。	61	19	911	1～9
30	2017	4	17～ 18	就業終了後、帰宅する為マイカーに乗るときに転んで膝を打ち、痛かったがそのまま運転した。自宅駐車場で降りて痛みから再び転び、同じ左膝をアスファルトで強く打った。翌朝に腫れて出血し、身動きがとれなくなった。	57	2	417	10～ 29
31	2017	4	10～ 11	第5工場溶接ラインにてスポット溶接機オペレータの作業中、部品の入った約10kgのコンテナを定位置にセットするため腕を伸ばしたところ、腰を痛めた。1時間ほど痛みを我慢し作業を続け、休憩中に動けなくなった。	30	19	611	100 ～ 299
32	2017	4	13～ 14	当社請負先作業所において、圧接したパイプのバリをハンマーと工具を使って取っていたところ、工具がかけて右腕にあたった。	69	4	364	1～9
33	2017	4	16～ 17	強度試験用供試体のSET-UP確認中に、1.4mくらいの高さから脚立を使用して降りる際に足を滑らせ落下し、コンクリート床に右肩と右側顔面を強打した。確認作業時、ヘルメットは着用していた。	63	1	371	100 ～ 299

34	2017	4	15~ 16	厚生棟のトイレ前の手洗い場で、トイレ休憩後、熱中症をおこし、転倒しコンクリート面に頭を強倒して倒れ、くも膜下出血と診断された。	44	2	715	500 ~ 999
35	2017	4	15~ 16	金型・台車置場で、被災者Aは、生産終了後の金型をフォークリフトで運搬していた。所定置場に金型を置く為、フォークリフトから降り置場前にあるパイロンを移動しようと歩行していた時、台車整理を行っていた作業員Bが、折り畳んだキャスター付きの4段積みの台車が被災者Aの作業の妨げになると思い、台車を移動させようとしたが、誤ってフォークリフトの爪で台車を押しすぎてしまい、キャスターで台車が転がり、歩行していた被災者Aの右足大脛部が台車と金型に挟まれてしまった。	48	7	222	100 ~ 299
36	2017	3	10~11	停泊中の船舶をドックに上架作業途中に、船舶の位置決め案内・鉄パイプ（約6m）を取り外す作業を複数（約10名）で行っていた。災害発生時、被災者は当該物の固定ピンを抜いた時に落ちないように支える作業に就いていた。他の作業員が当該物の固定ピンを外した時、当該物が被災者の予想外の重量であった為、支えきれず落としてしまい、右足を負傷した。	27	4	521	10~ 29
37	2017	3	15~16	顧客車両置場で塵芥車の不具合状況をサービス員と被災者の2名で確認中、被災者が塵芥車後方側面のチェーンに接近していたことに気付かず、サービス員が塵芥車を作動させた際、右手中指がチェーンに巻き込まれた。	45	7	121	1~9
38	2017	3	9~10	工場内で材料（鋼材）廃材を処分する際、切端等の入った箱を持ち上げたときに腰部に痛みが出た。	21	19	611	10~ 29
39	2017	3	14~15	当社工場内で機械の清掃中に、ニトローブ（ニトリロゴム）手袋で切り屑をつかみ、右手人差し指第2関節辺を切ってしまった。	34	8	521	10~ 29
				ワーク（自動車部品名称：変速カム）の切削後に出るカエリを除去する専用機械において、そのワークを右手で専用機械に挿				

40	2017	2	9~10	入し、右手でスイッチを押すと押し型が矢印の方向に出るが、何らかの状態ですら右手でワークを挿入した時にスイッチに当たり押し型の所で右手を挟まれ負傷した。	33	7	159	10~ 29
41	2017	2	14~15	加工機（単能機）において、加工品（ワーク）の長さを短くする切削で切粉が出るが本来は竹の棒等で取り除くのであるが、今回手で切粉を取り除いた為、スライド（刃物台）と固定部に指を挟まれた。手を出すことは、当社においては厳禁しているが、本人がこれを守れず、手（手袋付）で切粉を取り除こうとした。	60	7	159	10~ 29
42	2017	2	8~9	リフトの燃料（LPガス）を交換中LPガスのコックを閉めたつもりが、閉まっておらず、バルブを開けてしまった為、LPガスが噴出して慌てて手でコックを閉めてしまった為、手を凍傷してしまった。	52	11	513	30~ 49
43	2017	2	14~15	本人は、仕上工程でフォークのグラインダー作業をしていた。本人は、当日入社で午前中に受入教育を受け、午後から現場に配属され作業手順の指導を受けていた。災害発生時は職長がやって見せ、やらせるを交互に行い手順を指導していた。職長が他工程の異常処置に入った際に、本人は作業を継続し、フォークの姿勢変換をしようとした。右手でフォーク立上り部を持ち、フォークを左側に倒した。その際、左手を定盤上に置いていた為、フォーク立上り部と定盤の間に左手中指を挟んで受傷した。	29	5	521	50~ 99
44	2017	2	22~23	三本ローラー（設備）成形作業時、材料がうまくローラーの間に入れる事が出来ず、手で材料を押し込むような動作をした時に、皮手袋がローラーの間に挟まり指も同時に巻き込まれた。	45	7	163	50~ 99
45	2017	2	6~7	被災者が発送工場にて、4t車両の庫内を清掃しようと踏み台に乗りリアステップに右足を乗せたところバランスを崩し左足か	56	1	221	300 ~

				ら工場床に落下し被災した。				499
46	2017	1	13～ 14	コンベアからパレットへ製品を移す工程で、パレットから落ちてきた製品が、その場所を移動していた作業者の右足に落ちて負傷した。安全靴を着用していたが、金具の無い部分での負傷であった。	46	4	224	30～ 49
47	2017	1	14～ 15	溶接作業中にスパッタが袖付前掛けに引火し、すぐに気付いたが、大した事ではないと考え、溶接を続行した（溶接外観が悪くなってしまう為）。溶接作業を続行したことで、袖付前掛けから上着・中着・下着すべてに引火してしまい、左肩前部から左腕にかけて30センチ程火傷を負い、また火を消そうとした右手の指先も火傷した。	20	11	332	50～ 99
48	2016	12	14～ 15	鋼管工場内、塗装ライン原管置き場にて、塗装ラインへ製品を移動する為の準備中、高さ約1.5mの製品の上で、本来であればナイロンスリングで玉掛をしてから、製品を結束している結束バンドを2ヶ所を残して切り、クレーンで塗装ラインまで移動させるが、今回は玉掛をしない状態で全ての結束バンドを切ってしまった為に製品が荷崩れした。その勢いで約1.5mの高さから落下し、更に身体の上に製品3本が落下し、下敷きとなった。	47	1	521	100 ～ 299
49	2016	12	8～9	連続生産中、ワーク詰まりによる異常発生にて設備停止。他の作業者が復旧作業をしていたが、頻繁に異常が起きていた為、被災者が設備後ろ側から金型の中に手を入れて確認していた。他の作業者は復旧出来たので再始動を行った。他の作業者は被災者が死角で見えておらず、手を入れて作業をしていた被災者の中指が、金型に挟まれ負傷。	57	7	154	30～ 49
50	2016	12	0～1	工場の作業台から降りようとした際、誤って工具箱の上に足を置いてしまい、バランスを崩して足を捻って骨折した。	41	3	379	1～9
				工場の玄関の鉄製扉の開閉状態が悪いため、最上部のローラー				

51	2016	11	13～ 14	部分を調整していた際、パレット6枚を積み上げた台に乗りそこね、バランスを崩して着地した際に右足を捻り負傷した。	47	3	416	10～ 29
52	2016	11	11～ 12	工場内において、150トンプレス作業が終わり、周りの片づけをしていた最中、立て掛けてあるコイル材を軍手をし後ろ向きに引っ張ったが、多少油が軍手についていたため滑ってしまい、反動で横向きに転んでしまった。その際、土面で左膝と顔の左側を強打し、膝を脱臼、左頬を打撲負傷した。	51	2	379	1～9
53	2016	11	9～ 10	コンテナ船の本船上、冷凍コンテナの電源プラグの装着作業で移動中、濡れていて滑りやすかった階段を下りる際、足を滑らせ滑落しそうになり、とっさに手すりを掴んだが、全体重を左手一本で支える事になり、上体がのけぞる恰好となった。	31	2	413	30～ 49
54	2016	11	11～ 12	木工場内で丸のこを使用して端材を切っていた。端材が小さかったので刃に手が当たり負傷した。	69	8	131	30～ 49
55	2016	11	9～ 10	加工する材料を固定するために、材料を右手で押さえ、材料の左側からバイスで押さえようとした際、右手親指先端が材料とバイスの間に挟まれ、先端骨折および爪が剥がれた。	22	7	169	100 ～ 299
56	2016	10	11～ 12	脱型架台上で、被災者がCURE BASE表面に離型剤ウエスと乾拭き用ウエスを両手で当て、前傾姿勢の状態の手元に集中しながらステップ上を横移動していた際に、ステップ長がCURE BASEに対して短かったためステップの端に気づかず、CURE BASEとステップの間へ右足を踏み外し右足首を捻り受傷した。	44	1	416	1000 ～ 9999
57	2016	10	0～1	工場内の作業中、フライス盤の切替の為、フライス盤の上ののり、切替中に、スパナが滑ってはずれ、身体ごと転落した。その時に、右腕をひねって打ちつけた。	50	2	379	1～9
58	2016	10	10～ 11	サンディング室内で、ステンレス製の熱交換器用コアを仕上げている際、製品の向きを変えようとしたところ、製品が倒れそうになったため、不安定な姿勢で製品を支えた時、腰に激痛が	51	5	612	100 ～ 299

				走り立っている事が困難となった。				
59	2016	10	10～ 11	大型車の出荷検査時にコンテナ内を確認後、踏み台にてコンテナから降りる際、滑ってしまい、バランスを崩し、左側に倒れた。その際、踏み台が左脚ふくらはぎに当たり負傷した。	57	2	371	300 ～ 499
60	2016	9	11～ 12	コールドボックスを洗浄して水切りを行うのに少し斜めになった箇所に持って行き水切りをした後、完成ボックス置場に移動する時、コールドボックスごとバランスを崩し、機材ごと転倒し右足首くるぶしを骨折した。	63	2	362	10～ 29
61	2016	9	8～9	朝の清掃作業中、塗料の使用済み一斗缶を廃棄場に運ぶ為、台車に積み込んでいた際、先に積んでいた一斗缶の蓋の切り開かれた鋭利な部分と左足の膝が接触し、裂傷を負った。	27	8	611	10～ 29
62	2016	9	15～ 16	事業場内に於いて、フォークリフトで製品の箱を定位置に置き、同リフトから降りようとした際、足元に置いてあったパレットの上に右足を着いたとき、誤って同足首を捻ってしまい負傷する。	38	2	611	1～9
63	2016	9	11～ 12	勤務中、10トントラックの運転席に部品を取り付けるため乗り込もうとしたところ、2段目のステップで足を滑らせたはずみに背中から地面に転落し負傷した。	62	1	221	1～9
64	2016	9	13～ 14	作業場にて出張作業中、ベースプレートの搬入据付作業において、フォークリフトと天井クレーンでプレートの向きを90度変える際、2人作業で、1人がフォークリフトを操作し、もう1人がプレート下に置いていた枕木を外そうと左手を入れた時にプレートが下がり、左手人差し指を枕木とプレートの間に挟んだ。	52	7	521	300 ～ 499
65	2016	9	9～ 10	工場内でフライス機でドリルを使用した穴あけ加工をしている時に、本来は機械を止めて加工物の交換を行うが、機械を回したまま軍手を着用して加工物の交換を行い、その際に軍手を機械工具に巻き込み左手人差し指を負傷した。	74	7	152	30～ 49

66	2016	9	11～ 12	6Tスタンプにて製品の型打ち作業を実施していた際、ワークが上金型に貼り付いたため取り除くため、下金型に鉄を置いて落とし打を行った。その時、鉄が飛来し、被災者の右大腿骨周辺に直撃した。	33	4	521	100 ～ 299
67	2016	9	21～ 22	顧客先にて防火水槽底の水草除去のため、くわを使って水草を引っ掛けて水草を地上に上げる作業を何度も行った際、腰を捻った。	42	19	379	10～ 29
68	2016	9	15～ 16	バッテリーリサイクル場において、バッテリーの解体作業中、すぐ側で同僚がバッテリー液が拭き取られたバッテリーについて、切断機で切断したものを次の工程に移行するため、両手で持ち上げて作業台から降ろしたところ勢いが付き、バッテリー内に残留していた少量のバッテリー液が、同僚の後方でしゃがんで作業をしていた被災者に掛かり負傷した。	61	12	519	10～ 29
69	2016	9	17～ 18	作業エリアから通路に出ようとした時、通路脇にてワイヤーケーブルの束線作業を行っていたため、その下をくぐり抜けようとした際に目の前にあった作業台の角に眼をぶつけて被災した。	28	3	391	30～ 49
70	2016	9	14～ 15	台車に縦置きしたアルミ板を他の台車へ移し替えていた際、台車のバランスが崩れ横転し、台車を支えていた被災者の頭部にアルミ板が接触した。	56	2	362	500 ～ 999
71	2016	9	9～ 10	工場内の配管作業場で、脚立に乗りクリーニングリフター車のシール貼り作業を行っていたところ、脚立の3段目から2段目へ移動した際に足を滑らせたか踏み外し、後向きのまま転落し、床に後頭部を打った。	62	1	371	30～ 49
72	2016	9	14～ 15	金型工場内にてクリップ半自動機でクリップ成型作業をしていた際に、作業用の椅子に座ったところ、椅子の溶接部が壊れて真後ろに転倒し、後頭部と臀部を強打し負傷した。	63	2	391	50～ 99

73	2016	8	10～ 11	工場内にて、内輪切り替えシューターの取り付け作業をする際、3人作業で1人がボルト等の取り付けをし、2人でシューターの保持をしていたが、保持している際に腰をひねり痛めた。	32	19	612	50～ 99
74	2016	8	17～ 18	工場内において、フォークリフトで航空機部品の材料を移動させるため、手前の邪魔な台車を手で押したところ、突然台車がバランスを崩し、台車に載せていた治具が右足甲部に落下し負傷した。	39	4	379	100 ～ 299
75	2016	8	10～ 11	パイプ製作作業場のパイプ曲げ工程にて、パイプベンダー操作中にパイプ本体が機械から外れそうになり、パイプを支えようとしたところ、支えた場所が挟み込みをする近くだったため、よそ見をした瞬間に巻き込まれ、小指を挟まれて負傷した。	45	7	159	50～ 99
76	2016	7	16～ 17	自走式高所作業車の調整作業中、旋回歯車のかみ合わせ隙間調整を行うため、上部旋回部と下部台車の隙間に腕を入れた際に、自動旋回している上部と下部の台車に腕が挟まれ受傷した。	29	7	121	300 ～ 499
77	2016	7	3～4	曲げ加工が終わった製品をクレーンを使って移動作業中、製品がバランスを崩し、左足に当たり負傷した。	24	6	211	100 ～ 299
78	2016	6	8～9	航空機工場にて、アルミ板形状加工機の集塵装置の日常点検時、切粉排出口の詰まり状況を確認するため、切粉受けを移動させようとし、無意識に切粉排出口に左手を添えて身体を支えた際、キヤ回転部に軍手が巻き込まれ、左手人差し指の指先を負傷した。	22	7	169	500 ～ 999
79	2016	6	11～ 12	工場内にて、振り替えで出勤し500tプレス機で成型した部品を取り出す作業を行っている際、機械下部のバネが成型した部品を押し出し取り出す仕組みになっているが、バネの作動が遅れ、手を入れたと同時にバネが成型した部品を押し出したた	51	4	521	100 ～ 299

				め、左手環指に直撃し負傷した。				
80	2016	5	15～ 16	工場内において、トラックの荷台に乗って積荷のパイプを荷降し作業中、パイプの持ち上げをしている時に、パイプをすべらせてしまいパイプとパイプの間に左手が挟まり、左手の小指を骨折する。	81	4	521	1～9
81	2016	5	15～ 16	研磨作業中、腹当布が回転中の機械のシャフトに巻きつき、押し付けていた左手が同時に巻き込まれた。	41	7	153	1～9
82	2016	5	9～ 10	工場内にてプレス機に金型をセットする作業を行っていた。作業の途中、プレス機の上ののせた金型の位置を手作業で微調整していた際、誤ってプレス機と金型の間に左手中指を挟んで負傷した。	40	7	154	30～ 49
83	2016	4	8～9	中二階で釣具用品のピッキング作業をしている時に、階段で下の階に降りようとした際、足を踏み外して、正座するような体勢で滑り落ち、右足首を骨折した。	43	1	413	100 ～ 299
84	2016	4	20～ 21	退勤後に事務所内の更衣室にて着替えをしようと急ぎ足で歩いていた際、前方より電話をしながらの人が歩いてきたのを避けようとしたところ、通路に対して前のめりに転倒してしまい、胸部及び右手首を負傷した。	56	2	921	100 ～ 299
85	2016	4	10～ 11	事務所内において、プレス金型をハンドリフトで移動し、設備供給口のローラーに載せたところ、金型の向きを間違えたのに気づき直そうとした時、ローラー上で金型が被災者の方向へ動いてきた為、手で押さえた際、腰部を負傷した。	54	19	521	10～ 29
86	2016	3	10～ 11	プレス機にレベラーフィーダより加工材料を送入調整作業中、レベラーフィーダの材料調整用リモコンで手動により材料とプレス機金型の位置決め調整をしていた。本来は停止状態で材料と金型の位置確認をすべきところ、右手を金型のダイ側に入れたまま、左手でリモコン操作をし、寸動でなく、一回送りのリリース送りでスイッチを押してしまった。材料と金型ダイに右	41	7	154	50～ 99

				手示指・中指がはさまれた。				
87	2016	3	16～ 17	組み立場にある組み立完了製品（コンベア）を検査の為、検査場まで台車にのせ2名で移動している時に、前に置いてあった製品のコンベアとの間に、左薬指をはさみ負傷した。	57	7	611	50～ 99
88	2016	3	17～ 18	スポット溶接機で溶接中、無理な体勢での作業だったため、腰を負傷した。	25	19	332	30～ 49
89	2016	3	8～9	ネジ部品製造工場において、鉄鋼材にネジ加工する為に、転造盤の機械で作業中に、右手の軍手が機械に絡まり、巻き込まれ回されてしまい、右手を負傷した。	64	7	159	10～ 29
90	2016	3	9～ 10	工場内の部品洗浄工程において、板フランジ部品を角型金鋼に入れ、手洗い洗浄後、右横の液きり工程に移動しようとして、部品の入った角型金鋼を持って腰部を回したところ、腰に負担がかかり受傷した。	43	19	921	100 ～ 299
91	2016	3	9～ 10	作業場内において、伝票を手を持って製品（断熱材）のユーザー名を記入する為に製品に近づいて行った際に、コンクリートの床に躓いて転倒し、左膝を負傷した。	52	2	416	1～9
92	2016	2	17～ 18	工場内で作業中、塗装を焼く為の遠赤ヒーターを移動中、遠赤ヒーターとかべの間に小指をはさんだ。	43	6	379	1～9
93	2016	1	11～ 12	工場にあるフライス盤の所で、金属部品を切削加工している際、加工後、回転しているカッターから一定間隔離して部品の脱着作業をする手順になっているが、昼休み間近という事で急いで作業を済ませようと、手順より極端に短い間隔しか離さず部品を取り出そうとした時に、ビニール製手袋がカッターに引っかかり、右手人差し指と中指の間を切った。	72	8	152	10～ 29
94	2016	1	16～ 17	工場内で、車の屋根を磨くため、脚立の上で3kg程の工具を持ちながら作業中、落下し右足2ヶ所を多重骨折した。	63	1	371	1～9
				勤務地にて棚移動を行っていた。その際バランスを崩し、棚が				

95	2016	1	17～ 18	手から滑り落ちてしまった。その棚を避けることが出来ず、左 脚に落ち、左脚薬指を負傷した。	34	4	379	30～ 49
96	2016	1	13～ 14	梱包場にて、台車からモジュールケース内に部品を積み込もう と梱包部品を持ち、体の向きを変えようとした時、左足を捻っ て痛めた。	31	19	611	10～ 29
97	2015	12	17～ 18	400tプレスにてコイル材をアンコイラから外す作業を行ってい た。コイル材にスリングベルトを通しクレーンのセンターに合 せる時、操作を誤り、被災者の方に移動したため、回避のため 後ろに移動した。被災者は、回避の際、アンコイラから外れた コイル材が右大腿部に触れ転倒し、受傷した。	44	5	211	500 ～ 999
98	2015	12	9～ 10	工場3階、油圧シリンダー組立作業場内で、油洩れ確認用の加 圧試験機にて、組立済油圧シリンダーの油洩れ試験を行う為、 製品を治具に組み付けしていた際、誤って加圧用フットスイッ チに足をかけてしまい、治具とシリンダーに左手小指をはさま れ受傷した。	47	7	169	30～ 49
99	2015	12	11～ 12	来客対応のため、2階事務所より1階の玄関へ階段を降りてい た際、おどり場で足を滑らせ転倒した。	60	2	413	1～9
100	2015	12	12～ 13	シャーシの煽りを閉めようとした際、煽りとステッキの間に左 手小指を挟み、出血した。	26	7	221	50～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。